

令和 8 年度
消防学校教育訓練計画



鳥取県消防学校

目次

1	令和8年度鳥取県消防学校教育訓練計画	
(1)	基本方針	1
(2)	教育種別及び到達目標	1
ア	消防職員教育	1・2
イ	消防団員教育	3・4
ウ	一般県民教育	4
2	令和8年度教育訓練計画の教育種別一覧表	5
3	令和8年度教育訓練計画の月別実施予定表	6
4	教育種別教科目及び時間数	
(1)	消防職員教育	
ア	消防職員初任教育	7
イ	専科教育救急科第16期	8
ウ	専科教育警防科第13期	8
エ	専科教育予防査察・危険物科第1期	9
オ	幹部教育初級幹部科第27期	9
カ	特別教育救急救命士活性化コース第4回	10
キ	特別教育女性活躍推進コース第1回	10
ク	特別教育火災調査指導者養成コース第1回	10
(2)	消防団員教育	
ア	基礎教育第79期	11
イ	専科教育警防科第55期	11
ウ	専科教育機関科第61期	11
エ	幹部教育指揮幹部科第7期	11
オ	特別教育消防操法指導科第49期	11
カ	特別教育女性団員教育第20期	11
キ	現地教育	11
ク	一日入校	11
ケ	応急手当普及員養成講習	11
コ	応急手当指導員養成講習	11
(3)	一般県民教育	
ア	自衛消防組織員教育科（福祉施設）	12
イ	自主防災教育	12
ウ	一日入校	12
エ	出前講座	12
オ	応急手当普及員養成講習	12
カ	応急手当指導員養成講習	12
5	参考	
(1)	令和8年度鳥取県消防学校入校中経費内訳一覧表	13
(2)	携行品一覧表	14

1 令和8年度鳥取県消防学校教育訓練計画

(1) 基本方針

消防職員及び消防団員に対して、消防の責務を正しく認識させるとともに、人格の向上、学術技能の修得、体力の錬成、規律の保持、共同精神の涵養を図り、もって公正明朗、かつ能率的に職務を遂行し得るよう、その資質を高める。

また、一般県民に対しては、消防について必要な基礎知識を修得させ、もって防災意識の高揚と普及を図る。

(2) 教育種別及び到達目標

ア 消防職員教育

(ア) 初任教育

新規採用職員を対象に、消防の責務を正しく理解させ、消防業務の基礎的な知識及び技術を修得させるとともに、気力・体力の錬成を図り、もって有能な消防職員を育成する。

(到達目標)

- ・ 服務義務を理解し、職務意欲が旺盛で、住民の信頼を得られること。
- ・ 警防隊員として、基本的な安全管理について理解し、自らの安全を確保し、災害現場では隊長の下命に基づく基本的な活動ができること。
- ・ 消防業務全般について概要を理解していること。
- ・ 住民からの一般的な質問に応答できること。

(イ) 専科教育救急科

原則として、救急隊員の資格を必要とする職員を対象に、救急隊員の行う応急処置等の専門知識及び技術を修得させる。

(到達目標)

- ・ 救急業務及び救急医学に関する基本的な知識を有していること。
- ・ 応急処置に必要な解剖生理及び各科の疾病状況に関する専門的知識を有しており、応急処置時における的確な観察及び判断能力を備えていること。
- ・ 応急処置に必要な専門的技能を充分に発揮できること。
- ・ 救急用器具及び材料の取扱いに関して精通していること。

(ウ) 専科教育警防科

消防士長以下の消防職員を対象に、警防活動に必要な気力・体力の錬成と、火災及び都市型災害等の警防活動に必要な基礎知識、技術を修得させる。

(到達目標)

- ・ 警防行政の現状及び課題を理解していること。

- ・防災関係法令に関する専門的知識及び災害対策に関する最新の知識を豊富に有していること。
- ・各種災害事象に対する基本的消防戦術を理解し、災害現場において部隊を安全、適切かつ効果的に指揮できること。
- ・心身の健康管理に積極的に取り組めること。

(エ) 専科教育予防査察・危険物科

予防査察又は危険物業務に従事する消防職員を対象に、消防用設備の諸基準、建築物の規制、防火管理、査察、違反処理、危険物に関する専門的知識等、予防・危険物業務遂行上必要な知識及び技術を修得させる。

(到達目標)

- ・査察・危険物行政の現状及び課題を理解し、与えられた権限を正しく執行できること。
- ・防火管理、建築規制、危険物規制及び消防用設備等に係る専門的知識を豊富に有しており、査察要領を修得していること。
- ・違反処理に係る専門的知識を修得し、違反対象物に対して是正を指導できること。
- ・危険物化学、指定可燃物及び液化石油ガス等に関して、災害対策上必要な科学的特性に係る専門的知識を豊富に有していること。
- ・危険物施設に対して許認可等の規制を的確に行い、違反を適切に処理できること。

(オ) 幹部教育初級幹部科

消防司令補の職員又は消防士長の階級にある者であって部隊若しくは係の長である職員を対象に、初級幹部としての責任及び立場を正しく認識させ、上司を補佐し、また部下を指導できる消防職員を育成する。

(到達目標)

- ・初級幹部としての責任及び立場を正しく認識していること。
- ・初級幹部として消防行政の動向を理解していること。
- ・上司を補佐し、部下を指導できること。
- ・事故及び障害の発生時に、迅速な初動対応ができること。
- ・災害現場において、現場指揮者の下命を理解でき、自隊に対する安全管理と的確な下命を行えること。

(カ) 特別教育救急救命士活性化コース

救急救命士を対象に、救命処置を行うための再教育を行い、救急活動に必要な知識及び技術を修得させ、職務遂行能力の向上を図る。

(キ) 特別教育女性活躍推進コース

女性消防吏員としてのキャリア形成を考え、職域拡大等を目的とした知識及び能力を修得させる。

(ク) 特別教育火災調査指導者養成コース

火災調査の専門性を高め、調査全般のマネジメントなどを目的とした知識及び能力を修得

させる。

イ 消防団員教育

(ア) 基礎教育

新任消防団員又は、消防団員としての経験が概ね三年に満たず、消防学校における教育訓練を受講したことの無い者（団員の階級にある者に限る。）並びに再度教育を希望する者に、基本的な訓練礼式と消火活動に必要な技術を修得させる。

(到達目標)

- ・地域防災の担い手としての任務を自覚し、消防組織の概要及び消防対策に必要な地域特性を理解していること。
- ・災害現場では自らの安全を確保しながら、下命に基づく現場活動を遂行できること。

(イ) 専科教育警防科

主として警防担当の団員に対し、消火活動に必要な技術を修得させる。

(到達目標)

- ・火災防ぎょ活動に関する専門的知識及び行動原則並びに各種災害事象における消防団の役割及び活動内容を理解していること。
- ・災害現場において中核的な活動を遂行できること。

(ウ) 専科教育機関科

主として機関担当の団員又は今後その予定にある者に対し、機関運用に必要な知識及び技術を修得させる。

(到達目標)

- ・道路交通関係法令及びポンプ工学に関する専門的知識を有していること。
- ・消防自動車を迅速かつ的確に運行できること。

(エ) 幹部教育指揮幹部科

原則として班長以上の消防団員を対象に、団員の指揮監督に必要な知識を習得させる。

(到達目標)

- ・消防団幹部としての職責を自覚し、消防団の管理運営及び活性化に資する広い知識を有していること。
- ・各種災害発生事象において、消防団に期待される役割及び効果的な防ぎょ活動の在り方を深く理解していること。

(オ) 特別教育消防操法指導科

原則として班長以上の消防団員を対象に、消防ポンプ操法指導者として必要な知識、技術、指導要領を修得させる。

(カ) 特別教育女性団員教育

女性団員及び女性隊員を対象に、基本的な訓練礼式と消火活動及び広報・啓発活動に必要な技術を修得させる。

(キ) 現地教育

団員を対象に、市町村に出向き現地において教育訓練を実施する。

(ク) 一日入校

団員を対象に防災講座、消火訓練等要請のあった科目に応じた教育を行う。

(ケ) 応急手当普及員講習

消防団員を対象に、応急手当に関する基礎的な知識技能及び指導要領を習得させ、応急手当普及員を養成する。

(コ) 応急手当指導員講習

消防団員で応急手当普及員を対象に、応急手当に関する基礎的な知識技能及び指導要領を修得させ、応急手当指導員を養成する。

ウ 一般県民教育

(ア) 防災教育

地域の自主防災組織員を対象に、防災に関する知識及び技術を修得させる。

(イ) 一日入校（支え愛救出研修含む）

一般県民を対象に、防火講座、消火訓練等要請のあった科目に応じた教育を行う。

(ウ) 出前講座

一般県民を対象に、現地に出向いて地元消防団員とともに防火講座、消火訓練等要請に応じた教育を行う。

(エ) 応急手当普及員養成講習

一般県民を対象に、応急手当に関する基礎的な知識技能及び指導要領を習得させ、応急手当普及員を養成する。

(オ) 応急手当指導員養成講習

応急手当普及員を対象に、応急手当に関する基礎的な知識技能及び指導要領を習得させ、応急手当指導員を養成する。

2 令和8年度教育訓練計画の教育種別一覧表

教育種別			教育日数	時間数	回数	人数	対象
消 防 職 員	初任教育 第33期		115日	800h	1	33人 (予定)	新規採用職員
	専 科 教 育	救急科 第16期	36日	250h	1	33人 (予定)	原則として救急隊員の資格を必要とする職員
		警防科 第13期	11日	70h	1	13-15人	消防士長以下の消防職員
		予防査察・危険物 第1期	14日	91h	1	13-15人	予防査察又は危険物業務に従事する消防職員
	幹 部 教 育	初級幹部科 第27期	11日	70h	1	13-15人	消防司令補の職員又は消防士長の階級にある者であって部隊若しくは係の長である職員
	特 別 教 育	救急救命士活性化コース (第4回)	4日	26h	1	13-15人	救急救命士の資格がある職員（救急救命士実務経験が概ね5年以下の職員）
		女性活躍推進コース (第1回)	2日	12h	1	9-12人	女性消防吏員
		火災調査指導者養成コース (第1回)	4日	26h	1	13-15人	火災調査に従事する指導的立場の職員
消 防 団 員	基礎教育 第79期		2日	14h	1	20人	新任消防団員又は消防団員としての経験が概ね3年に満たず消防学校における教育訓練を受講したことのない者並びに再度教育を希望する者
	専 科 教 育	警防科 第55期	1日	6h	1	20人	主として警防担当の団員
		機関科 第61期	1日	6h	1	20人	主として機関担当の団員又は今後予定の者
	幹 部 教 育	指揮幹部科 第7期	3日	18h	1	20人	原則として班長以上の消防団員
	特 別 教 育	消防操法指導科 第49期	2日	12h	1	30人	原則として班長以上の消防団員
		女性団員教育 第20期	1日	6h	1	20人	女性消防団員及び女性隊員
		現地教育	1日	5h以内	随時	20人	消防団員
		一日入校	1日	3h以内	随時	20人	消防団員
		応急手当普及員養成講習	3日	24h	2	20人	消防団員
		応急手当指導員養成講習	2日	16h	1	20人	消防団員で応急手当普及員養成講習を修了した者
一 般	自衛消防組織員教育科 福祉施設第68期		1日	5 h	1		福祉施設に従事する職員
	自主防災教育		1日	6h以内	随時		地域の自主防災組織員
	一日入校（支え愛救出研修含む）		1日	3h以内	随時		一般県民
	出前講座		1日	5h以内	随時		一般県民
	応急手当普及員養成講習		3日	24h	2回	各30人 (3会場)	一般県民
	応急手当指導員養成講習		2日	16h	1回	各30人 (3会場)	応急手当普及員養成講習を修了した者

3 令和8年度教育訓練計画の月別実施予定表

教育種別			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	教育日数	時間数	回数	人員	備考
消防職員	初任教育		4/2 (木) (入寮)		第33期			9/25 (金) (卒業)							115日	800h	1	33人 (予定)	全寮制
	専科教育	救急科						9/28 (月)	第16期		11/18 (水)				36日	250h	1	33人 (予定)	全寮制
		警防科								11/25 (水)～12/9 (水) 第13期					11日	70h	1	13-15人	全寮制
		予防査察・危険物科											2/25 (木)～3/16 (火) 第1期		14日	91h	1	13-15人	全寮制
	幹部教育	初級幹部科										1/20 (水)～2/3 (水) 第27期		11日	70h	1	13-15人	全寮制	
	特別教育	救急救命士活性化コース										2/15 (月)～2/18 (木) 第4回		4日	26h	1	13-15人	全寮制	
		女性活躍推進コース										2/8 (月)～2/9 (火) 第1回		2日	12h	1	9-12人	全寮制	
		火災調査指導者養成コース								12/14 (月)～12/17 (木) 第1回				4日	26h	1	13-15人	全寮制	
消防団員	基礎教育		18.19日 第79期												2日	14h	1	20人	全寮制
	専科教育	警防科							3日 第55期						1日	6h	1	20人	
		機関科						5日 第61期							1日	6h	1	20人	
	幹部教育	指揮幹部科								21.22.28日 第7期					3日	18h	1	20人	全寮制
	特別教育	消防操法指導科		9.10日 第49期											2日	12h	1	30人	全寮制
		女性団員教育			6日 第20期										1日	6h	1	20人	
		現地教育													1日	5h以内	随時	20人	
		一日入校													1日	3h以内	随時	20人	
		応急手当普及員養成講習													3日	24h	2	20人	
		応急手当指導員養成講習													2日	16h	1	20人	
一般	自衛消防 組織員教育科	福祉施設								20日					1日	6h	1		
	自主防災教育														1日	6h以内	随時		
	一日入校														1日	3h以内	随時		
	出前講座														1日	5h以内	随時		
	応急手当普及員養成講習						(東中西)				(東中西)				各3日	各24h	2	各会30人	
	応急手当指導員養成講習												(東中西)		2日	16h	1	各会30人	

(東：東部会場、中：中部会場、西：鳥取県消防学校)

4 教育種別教科目及び時間数

(1) 消防職員教育

ア 初任教育第3期					
教科目	項目				時間数
基礎教育	倫理	5	服務と勤務	28	72
	法学基礎・消防法	20	理化学	10	
	消防組織制度	9			
実務教育	予防広報	20	特殊災害と保安	10	231
	危険物	8	火災防ぎょ	30	
	消防用設備	12	火災調査	15	
	査察	27	防災	23	
	建築	10	救急	50	
	安全管理	16	消防機械ポンプ	10	
実科訓練	訓練礼式	50	体育	55	497
	消防活動訓練	82	実務研修	35	
	救助訓練	45	選択研修	40	
	機器取扱訓練	55	行事・その他	50	
	消防活動応用訓練	85			
合計					800

イ 専科教育救急科第16期

教 科 目	項 目	時間数
講 話	職責と心構え	1
救急業務及び救急 医 学 の 基 礎	救急業務の総論	50
	医学概論	
	解剖・生理	
	社会保障・社会福祉	
	救急実務及び関係法規	
	救急現場における参事ストレス対策	
応 急 処 置 の 総 論	観察、検査、応急処置総論、応急処置各論（処置実技）、救急医療・災害医療	73
病 態 別 応 急 処 置	心肺停止、ショック・循環不全、意識障害、出血、呼吸困難、胸痛・動悸・不整脈、腹痛、外傷総論、頭部・顔面・頸部外傷、脊椎・脊髄外傷、胸部・腹部外傷、骨盤・四肢外傷、多発外傷、皮膚・軟部組織外傷、熱傷・電撃症、化学損傷、中毒、溺水、異物（気道・消化管）、熱中症、偶発性低体温症、凍傷、高山病、減圧障害、酸素欠乏症、動物による咬傷・刺傷	67
特殊病態別応急処置	小児・新生児、高齢者、産婦人科・周産期、精神障害	25
実 習 及 び 行 事 ・ そ の 他	外傷シミュレーション、シミュレーション、入校式、修了式、効果測定、オリエンテーション	34
合 計		250

ウ 専科教育警防科第13期

教 科 目	項 目	時間数
講 話	職責と心構え	1
防 災	災害対策基本法の概要、水防法の概要、武力攻撃事態における国民保護に係る消防の役割	5
警 防 対 策	警防行政の現状と課題、各種災害対策、緊急消防援助隊	13
消 防 戦 術 と 安 全 管 理	災害現場の指揮、現場指揮要領と安全管理	14
図 上 研 修	図上訓練の企画立案、図上訓練、検証	10
実 技 訓 練	実技訓練の企画立案、図上訓練、検証	15
事 例 研 究	実務研究課題討議	6
健 康 管 理	消防職員の体力づくり、体力管理、精神衛生	3
行 事 、 そ の 他	入校式、修了式、効果測定、オリエンテーション	3
合 計		70

エ 専科教育予防査察・危険物科第1期

教 科 目	項 目	時間数
講 話	職責と心構え	1
予防査察行政の現状と課題	予防査察行政の現状と課題、消防関係法令の改正点	1
危険物行政の現状と課題	危険物行政の現状と課題・消防関係法令の改正内容	2
消 防 同 意	建築同意の概要	6
査 察	査察要領	24
危 険 物 規 制	製造所等に対する規制と査察要領、危険物施設の規制、危険物施設の位置・構造・設備の基準、危険物の貯蔵・取扱・運搬・移送の基準、許認可事務、違反処理	21
危 険 物 化 学	各危険物の概要、指定可燃物の貯蔵・取扱い、消防活動阻害物質	5
違 反 処 理	法的根拠、手続き、行政処分	14
査察・違反処理実習	防火対象物の査察、危険物施設の査察、建築・設備図書の見方	8
事 例 研 究	実務研究課題討議	6
行 事 ・ そ の 他	入校式、修了式、効果測定、オリエンテーション	3
合 計		91

オ 幹部教育初級幹部科第27期

教科目	項 目	時間数
講 話	職責と心構え	1
訓練礼式	点検・礼式	2
消防時事	消防行政の現状と課題・消防法令	8
消防財政	国と地方の関係、財政の仕組み、消防財政	3
人事労務管理	組織と監督、議会、事故防止、人権啓発、情報公開と個人情報保護、健康管理指導等	12
安全管理	公務災害、安全対策	10
現場指揮	災害現場の指揮、現場指揮要領、緊急消防援助隊	18
事例研究	実務研究課題討議	15
行事、その他	入校式、修了式	1
合 計		70

カ 救急救命士活性化コース（第4回）

教 科 目	項 目	時 間 数
講 話	職責と心構え	1
消 防 時 事	救急業務の現状と課題	1
現 場 指 揮	他機関との連携	5
救 急 医 学 基 礎	解剖生理学、病理学、観察	3
救 急 訓 練	救急救命処置、観察・処置	7
総 合 訓 練	救急想定訓練	7
行 事・その他	入校式、修了式、オリエンテーション	2
合 計		26

キ 女性活躍推進コース（第1回）

教 科 目	項 目	時 間 数
講 話	職責と心構え	1
消 防 時 事	消防行政及び女性活躍推進の現状と課題	1
消 防 実 務	消防実務管理、人事管理、現場指揮、安全管理	3
女 性 活 躍 推 進	女性活躍推進概論	3
事 例 研 究	実務研究課題討議	3
行 事・その他	入校式、修了式、オリエンテーション	1
合 計		12

ク 火災調査指導者養成コース（第1回）

教 科 目	項 目	時 間 数
講 話	職責と心構え	1
原因・損害調査	火災調査現場の指揮統制、統括マネジメント、専門機関の活用、関係機関連携、訴訟対応、安全管理	13
調 査 実 習	専門的知識を要する調査及び書類作成	7
事 例 研 究	実務研究課題討議（特異事例等）	4
行 事・その他	入校式、修了式、オリエンテーション	1
合 計		26

(2) 消防団員教育

ア 基礎教育第79期

教科目	時間数
講話	1
組織制度	1
訓練礼式	3
火災防ぎょ	1
防災・安全管理	2
救急救助	3
基本火災活動訓練	3
合計	14

カ 特別教育女性団員教育 第20期

教科目	時間数
訓練礼式	2
基本火災活動訓練	2
広報・啓発	2
合計	6

キ 現地教育

教科目	時間数
訓練礼式等	5時間以内

イ 専科教育警防科 第55期

教科目	時間数
防災・安全管理	2
火災防ぎょ活動訓練	4
合計	6

ク 一日入校

教科目	時間数
希望に応じた講習及び訓練	3時間以内

ケ 応急手当普及員養成講習

教科目	時間数
基礎的な知識・技能	8
指導要領	14
効果測定	2
合計	24

ウ 専科教育機関科第61期

教科目	時間数
道路交通関係法令・緊急走行要領	2
ポンプ運用訓練・機関整備	4
合計	6

コ 応急手当指導員養成講習

教科目	時間数
基礎的な知識・技能	8
指導要領	6
効果測定	2
合計	16

エ 幹部教育指揮幹部科第7期

教科目	時間数
現場指揮・安全管理	6
訓練礼式	3
防災訓練指導	3
救助訓練	3
指揮訓練	3
合計	18

オ 特別教育消防操法指導科第49期

教科目	時間数
指導要領（全般）	3
審査要領（小型）	4
審査要領（ポンプ車）	5
合計	12

(3) 一般県民教育

ア 自衛消防組織員教育科（福祉施設）

教科目	時間数
防火管理と消防計画	1
消防用設備の性能	1
消防用設備の活用方法	3
合計	5

エ 出前講座

教育内容
消火訓練
防火講座
救急講習
その他希望に応じた訓練及び講習

イ 自主防災教育

教育内容
自主防災組織の必要性
初期消火
図上訓練
救助訓練
搬送訓練
その他、応用訓練

オ 応急手当普及員養成講習

教科目	時間数
基礎的な知識・技能	8
指導要領	14
効果測定	2
合計	24

ウ 一日入校

教育内容
消火器の使い方
屋内・屋外消火栓による放水訓練
煙の中を避難する訓練
ビル等の高い場所から避難する訓練
消防車・救急車の乗車体験
その他希望に応じた講習及び訓練

カ 応急手当指導員養成講習

教科目	時間数
基礎的な知識・技能	3
指導要領	11
効果測定	2
合計	16

5 参考

(1) 令和8年度鳥取県消防学校入校中経費内訳

(単位：円)

教 育 種 別			教育日数	食費	図書費	体操着 研修費	諸費 (共益費)	合計	備考
消防職員	初任科 (第33期)		115日	188,568	59,612	18,050 116,550	41,020	423,800	
	専科教育	救急科 (第16期)	36日	58,320	26,488	—	17,260	102,068	
		警防科 (第13期)	11日	17,496	10,230	—	8,820	36,546	
		予防査察・危険物科 (第1期)	14日	22,032	10,010	—	10,000	42,042	
	幹部教育	初級幹部科 (第27期)	11日	17,496	11,503	—	8,820	37,819	
	特別教育	救急救命士活性化コース (第4回)	4日	6,480	3,960	—	4,270	14,710	
		女性活躍推進コース (第1回)	2日	2,592	3,143	—	3,190	8,925	
		火災調査指導者養成コース (第1回)	4日	6,480	2,970	—	4,270	13,720	
消防団員	基礎教育 (第79期)		2日	2,592	—	—	4,490	7,082	
	専科教育	警防科 (第55期)	1日	648	—	—	2,200	2,848	
		機関科 (第61期)	1日	648	—	—	2,200	2,848	
	幹部教育	指揮幹部科 (第7期)	3日	3,240	—	—	3,280	6,520	
	特別教育	女性団員教育 (第20期)	1日	648	—	—	2,200	2,848	
		消防操法指導科 (第49期)	2日	2,592	—	—	4,490	7,082	
		現 地 教 育	1日	—	—	—	—	0	
		一 日 入 校	1日	—	—	—	—	0	
一般	自衛消防組織員教育科 福祉施設 (第67期)		1日	—	—	—	—	0	
	自主防災教育		1日	—	—	—	—	0	
	一日入校		1日	—	—	—	—	0	
	出前講座		1日	—	—	—	—	0	
	応急手当普及員養成講習		3日	—		—	2,200	2,200	(消防団員)
							—	0	(一般)
	応急手当指導員養成講習		2日	—		—	2,200	2,200	(消防団員)
							—	0	(一般)

(注) 金額等は今後変更になる場合があります。

(2) 携行品一覧表

教育種別			制服 （一式）	白 手 袋	活動服			革 手 袋	ヘル メ ット	編 上 げ 靴 （救助靴）	防 火 衣 （一式）	レ イ ン ウ エ ア	ト レ ー ニ ン グ ウ エ ア	ア ポ ロ キ ャ ッ プ	運 動 靴 （上・下）	ス リ ッ パ （上履き）	健 康 保 険 証	印 鑑	洗 面 用 具
					作 業 服	救 助 服	救 急 服												
消 防 職 員	初任教育 第33期		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	専 科 教 育 教 育 部	救急科 第16期	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		警防科 第13期	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		予防査察・危険物科 第1期	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		初級幹部科 第27期	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	特 別 教 育	救急救命士活性化コース 第4回	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		女性活躍推進コース 第1回	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
		火災調査指導者養成コース 第1回	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
消 防 団 員	基礎教育第79期				●			●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●
	専 科 教 育	警防科第55期			●			●	●		●	●		●	●			●	
		機関科第61期			●			●	●		●	●		●	●			●	
	幹 部 教 育	指揮幹部科第7期			●			●	●		●	●	●	●	●		●	●	
	特 別 教 育	消防操法指導科第49期			●			●	●			●	●	●	●	●	●	●	●
		女性団員教育第20期			●			●	●					●	●			●	
		現地教育			●			●	●					●	●			●	
		一日入校			●			●	●					●	●			●	
		応急手当指導員講習																	
		応急手当普及員講習																	
	自衛消防組織員教育科 福祉施設																		
	自主防災教育																		
	一日入校																		
	出前講座																		
	応急手当普及員養成講習																		
	応急手当指導員養成講習																		

※制服着用時における下着は、白色（白シャツでバックプリントのないもの）を着用すること。靴下は黒・紺系統とし、足首が隠れる長さのものを着用するもの。